

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除) R3.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5						
				R3.7.1	R7.7.1		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療		病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等
13	周南	周南病院	療養 56	回復慢性 56	回復慢性 28	地ケア 20						○	回復期機能と慢性期機能を担う。	・周南病院で展開している在宅医療(訪問診療、訪問看護)を基軸にした施設等との連携を強化し、利用者の重症化を防ぐこと、急変時の自病院への入院受入のしきみを作ることで地域における当院としての役割を発揮する。	回復慢性 56 36 20	○		・引き続き、「在宅医療」を基軸とし、サブアキュート機能とポストアキュート機能を有する「地域包括ケア病棟」、長期療養生活を重視した「医療療養病棟」で地域における高齢者医療の役割を担う。2023年2月の地域医療構想調整会議で報告させていただいた通り、2024年に既存病院の隣接地に5階建ての新病院(病床数56床)の建設を予定しており、新病院の4階部分を「地域包括ケア病棟28床」、5階部分を「医療療養病棟28床」とする予定である。 ・病床数56床のうち、現状の地域包括ケア病棟20床・医療療養病棟36床より、当初は地域包括ケア病棟36床・医療療養病棟20床への変更を検討し、前回はその内容で提出していたが、新病院の建物の構造上の事や、患者層により再検討し、今回、地域包括ケア病棟28床・医療療養病棟28床とすることとした。 ・よって、以下の内容で変更とする。 回復:20(現状)→36(前回プラン)→28(変更プラン) 慢性:36(現状)→20(前回プラン)→28(変更プラン) ※R5.2月 調整会議でプラン変更を合意済み	
14	周南	周南リハビリテーション病院	一般療養 210	回復慢性 86	回復慢性 170	回リハ 40							回復期機能と慢性期機能を担う。	・地域におけるリハビリを中心とした回復期機能の一翼を担う。 ・市町との連携強化により、地域住民への介護予防活動の積極展開により、地域との連携を図っていく。また、地域基幹病院との連携はもとより、クリニック等との連携も強化していく。	回復慢性 210 44 166		○	回復期リハ病棟、障害者一般病棟、医療療養病棟とバランスを取っている。コロナ後の患者受入も積極的に行い、稼働も維持しており、引き続き地域基幹病院との連携はもとより、クリニック等との連携も強化していく。	
15	周南	周南市立新南陽市民病院	一般 150	急性回復 150	急性回復 100	地ケア 50						○	・当院は、介護老人保健施設「ゆめ風車」、居宅介護支援事業所「ゆめ風車」、訪問看護ステーションとともに、医療、保健、福祉の一体となったサービスを提供している。 ・自治体病院として、設立目的である地域住民の医療と福祉の増進を目指し、市との緊密な連携の下、併設の訪問看護ステーション等とも連携を深めながら、地域住民のニーズを的確に把握し、保健医療サービスの効果的、持続的な提供に努めている。	・周南西部地域の中核的な二次医療機関として、急性期医療などの質の高い医療を提供する役割、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等と連携・協力した、地域包括ケア病床を有する中心的な病院としての役割、疾患別地域連携バスを活用し、地域における病病・病診の医療連携を強化する役割、二次救急医療に係る病院群輪番制病院としての役割等を担っていく。 ・生活習慣病の早期発見・早期治療に繋がる「健診事業」の充実整備の取組を推進していく。また、増加が予想される「人工透析」治療の需要に対して、地域における受け皿拡大の取組を進めていく。	急性回復 150 100 50		○	・公立病院経営強化ガイドラインを踏まえ、医師確保・働き方改革、感染症対応の視点も含めるよう見直す方向で検討中である。	
16	周南	湯野温泉病院	療養 161	慢性 161	慢性 161								慢性疾患を中心に治療を行い、専門的治療が必要な場合は他の医療機関と連携を取りながら適切な医療を行っている。 ・天然の源泉を利用した温泉療法とリハビリテーションを積極的に推進。 ・特に機能低下の予防を重点に、PT・OT・STを配置。	・最新の医療施設を整備、温泉療法も完備し慢性期療養病床病院としての役割を堅持する。 ・老人保健施設温泉の里を有し、病院と在宅のパイプ役として、在宅復帰の生活リハビリ等を行っていく。通所リハビリ・訪問リハビリ・ショートステイを併設し在宅ケアを推進、地域に貢献していく。 ・また、サービス付き高齢者向け住宅湯野温泉、デイサービス等を有し、高齢者に安定した生活の岩を提供し地域社会に貢献していく。	慢性 161 161		○		
17	周南	鼓ヶ浦こども医療福祉センター	一般 100	慢性 100	慢性 100								慢性期機能を担う。 ・児童福祉法及び障害者総合支援法による医療型障害児入所施設や療養介護事業所の機能も併せ持っている。	・山口県内におけるNICUの後方機関(入院・ショートステイ・在宅訪問等)としての体制維持と充実に努める。 ・在宅と入所の区別なく、障害児者のライフステージ全般にわたる支援を行う。 ・山口県には、障害児に対する公的な療育機関がない。その代替としての役割を担う。	慢性 100 100		○		
18	周南	地域医療支援病院オープンシステム徳山医師会病院	一般療養 330	急性回復慢性 230	急性回復慢性 135	回リハ 95						○	○	・全国唯一の完全オープン型の病院であり、周南市の病院・診療所の医師が登録医となり、患者の入院から退院までの間一貫して診療する。入院中は主治医や他科の医師等と共同して診療し、患者に最適な医療サービスを提供するとともに、地域医療の充実、地域完結型医療体制に貢献している。 ・二次救急及び三次救急は、徳山中央病院の働きに負うところが大きい。日常の急性期医療や回復期医療にも貢献しており、脳卒中後リハビリテーションや大腿骨骨折手術後のクリニカルパスでも一翼を担っている。その他、神経難病リハビリテーション患者の受入や地域の慢性期病院や介護施設と連携も積極的に実施している。	・地域医療支援病院としての役割を継続的に果たしていくとともに、オープンシステムの有効性を維持し、圏域の回復期機能の地域における役割を果たしていく。 ・現在の急性期(135床)、回復期(95床)、慢性期(100床)を維持する方向であるが、今後の医療需要の推移を踏まえ適正な病床規模について継続的に検討を進めていく。	急性回復慢性 330 135 95 100	○		・将来の医療需要や当院の地域において今後担うべき役割を踏まえ、地域医療支援病院としての役割を継続的に果たしていくとともに、オープンシステムの有効性を維持し、圏域の回復期機能の地域における役割を果たしていくため、ケアミックス型病院としての機能を維持し、圏域の実情に応じた回復期の増床、急性期及び慢性期の減少を行う。 ・具体的には、令和5年3月に近隣の医療機関と重複する慢性期病床を24床削減し、この地域に不足している回復期病床を既存の急性期病床48床から転換することにより、この地域に過剰とされている急性期病床を減らし、不足している回復期病床を増やす。 《R5.3病床機能再編後》 急性期135 ⇒ 87 回復期95 ⇒ 143 慢性期100 ⇒ 76 合計 330 ⇒ 306 ※R5.2月 調整会議でプラン変更を合意済み
19	周南	徳山中央病院	一般 507	高度急性 463	高度急性 44							○	○	・周南医療圏の基幹病院として、高度急性期、急性期医療を担っており、周南地域休日・夜間こども急病センター(一次救急)、小児救急医療拠点病院・病院群輪番制(二次救急)指定病院、救命救急センター(三次救急)としての使命、地域がん診療連携拠点病院としてがん治療に対し診断から治療、がん終末期医療として県東部地域では初めて緩和ケア病棟を運営している。 ・地域周産期母子医療センターとして、出産や周産期の高度急性期治療を新生児特定集中治療室(NICU)で対応、手術の重症例は特定集中治療室(ICU)で対応、臓器提供施設指定病院として、脳死下の臓器提供・腎移植等の実施、臨床研修指定病院として臨床研修医への研修の実施、DMAT指定医療機関としてDMAT隊の被災地派遣、大津島診療所への医師派遣の実施等。	・地域で対応が困難な5疾病、5事業等への貢献。二次・三次救急医療、脳血管疾患発症時の緊急・内科的、外科的治療、急性心筋梗塞等心疾患に対するPTCA・バイパス手術等、小児・妊産婦への救急医療、悪性腫瘍の根治的手術・放射線治療、化学療法、災害医療、へき地医療。 ・当院では、高度急性期、急性期病院として地域医療を担っており、病床機能については、今後変わることはない。	高度急性 507 463 44		○	・地域で対応が困難な5疾病、5事業等への貢献。二次・三次救急医療、脳血管疾患発症時の緊急・内科的、外科的治療、急性心筋梗塞等心疾患に対するPTCA・バイパス手術等、小児・妊産婦への救急医療、悪性腫瘍の根治的手術・放射線治療、化学療法、災害医療、へき地医療。 ・高度急性期、急性期医療の機能に特化するため、効率的に人的資源を当該医療に集中させることができる運営方法を病院全体で検討している。

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1		病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5					
			R3.7.1	R7.7.1	急性	慢性		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療		病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中
20	周南	田中病院	一般 52	一般 52	急性 52	慢性 28							・急性期機能(分娩)を担う。	・地域の分娩機関として、現状を維持していく。	急性 52		○		現状維持のため変更はありません。
21	周南	鹿野博愛病院	療養 74	療養 74	慢性 74	廃止 0							R4.3.31無床診療所化(38床を下松中央病院へ移管、36床を介護医療院へ転換)について、R3.12.9の調整会議において合意済。	-	-	R4.3無床診療所へ移行済のため対象外			
病院小計			3,018 一般 1,835 療養 1,183	3,018 高度 463 急性 818 回復 642 慢性 1,095	2,920 高度 463 急性 794 回復 650 慢性 1,013		675 回リハ 304 地ケア 371	2	5	4	1	0			2,982 高度 463 急性 818 回復 680 慢性 1,021	3	15	2	
22	周南	浅上内科胃腸科 医院	一般 7	一般 7	休棟 7	休棟 7							・外来診療のみ(休床中)。	・基礎疾患・危険因子の管理等初期診療の実施。	休棟 7		○		
23	周南	医療法人中山医 院	一般 19	一般 19	急性 19	急性 19							・回復期機能を担う。	・急性期機能の一翼を担う。	急性 19		○		
24	周南	英クリニック	一般 18	一般 18	急性 18	急性 18							・急性期機能を担う。	・痛み、骨折で医療を必要とする人への対応。	急性 18		○		
25	周南	阿部クリニック	一般 19	一般 19	急性 19	急性 19					○	○	・4機能のうち急性期が中心。	・今まで通り急性期医療から終末期医療まで担う。	急性 19		○		
26	周南	医療法人創世会 篠山医院	療養 16	療養 16	慢性 16	慢性 16						○	・慢性期機能を担う。	・現状維持。	慢性 16		○		
27	周南	医療法人社団光 仁会市川医院	一般 19	一般 1	回復 19	回復 7							・回復期機能を担う。	・地域における回復期機能の一翼を担う。	回復 19	○			令和5年3月1日より、回復期12床を介護医療院へ転換し、回復期7床へ変更している。 ※R5.2月 調整会議でプラン変更を合意済み
28	周南	医療法人やよい 河村循環器神経 内科	療養 4	療養 4	慢性 4	慢性 1						○	・慢性期機能を担う。	・より地域に密着した医療を目指す。	慢性 1		○		
29	周南	徳本歯科医院	一般 2	一般 2	休棟 2	廃止 0							・急性期機能を担う。	・歯科診療所として外来診療を重点的に行う。 ・当面は、急性期の患者を、短期間、緊急避難的に受け入れる程度の病床機能を維持するが、2025年までに病棟を閉鎖する方向で検討中である。	廃止 0		○		
30	周南	竹内医院	一般 15	回復 15	回復 15	回復 15						○	・回復期機能を担う。	・外来診療と在宅診療の二本立の体制を維持する。 ・医療の末端部分を担当し、患者に一番近い存在であること。	回復 15		○		
31	周南	津永産婦人科	一般 9	一般 9	急性 9	急性 9							・周南市において分娩を取り扱う有床診療所の一つで、婦人科疾患もオープンシステム徳山医師会病院を利用し、年間約40件近くの手術実績がある。	・分娩を取扱う施設が減少してきており、地域における周産期医療の一翼を担う体制を維持していく。 ・少子高齢化・晩婚化などに伴う医療需要の変化に対応する。	急性 9		○		周南市において唯一、分娩を取り扱う有床診療所となり、地域における産科医療の体制を維持するため。
32	周南	医療法人広田眼 科	一般 17	一般 17	急性 17	急性 17							・急性期機能を担う。	・白内障、緑内障、網膜剥離、糖尿病網膜症など、急性期医療の提供体制の確保。	急性 17		○		
33	周南	医療法人 宇野 医院本院	一般 19	回復 19	回復 19	回復 19							・4機能のうち回復期か中心。	・高齢者の独居が多い地域の為、急性期後の回復、自立の為に当院の役割を再検討。又、二次病院では対応しきれない慢性期患者の対応も検討する必要がある。	回復 19		○		
診療所小計			164 一般 126 療養 38	164 高度 0 急性 82 回復 53 慢性 20 休棟 9	147 高度 0 急性 82 回復 41 慢性 17 休棟 7			0	0	4	0	4			140 高度 0 急性 82 回復 41 慢性 17	1	11	0	
医療圏合計			3,182 一般 1,961 療養 1,221	3,182 高度 463 急性 900 回復 695 慢性 1,115 休棟 9	3,067 高度 463 急性 876 回復 691 慢性 1,030 休棟 7	675 回リハ 304 地ケア 371	2	5	8	1	4				3,122 高度 463 急性 900 回復 721 慢性 1,038	4	26	2	

※1:令和3年度病床機能報告における病床数。

※2:中国四国厚生局「届出受理医療機関名簿(届出項目別)」において、【地ケア:地域包括ケア病棟入院料又は地域包括ケア入院医療管理料】、【回リハ:回復期リハビリテーション病棟入院料】を届け出ている病床数。

※3:【地域医療支援:地域医療支援病院の承認を受けた病院】、【救急医療施設:二次救急医療施設の認定を受けた病院は「○」、三次救急医療施設の認定を受けた病院は「◎」】、【在宅医療支援:在宅医療支援病院又は在宅医療支援診療所の届出のある医療機関】、【在宅医療後方支援:在宅医療後方支援病院の届出のある病院】、【終末期医療:令和3年度病床機能報告における「有床診療所の病床の役割」の項目のうち、「終末期医療」を選択している有床診療所】

※4:「機能別病床数(2025)」については、令和4年12月までに調整会議において合意された2025プランの内容を反映している。また、有床診療所については、「病床機能報告による病床数」の「R7.7.1」の機能別病床数を反映している。

※5:「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」を行った結果、具体的対応方針(2025プラン等)について、①変更を行う場合、「変更あり」に○を付し、具体的な変更内容等を記載する。

②変更が必要ない場合、「変更なし」に○を付し、変更しない理由等を記載する。③検討中の場合、「検討中」に○を付し、可能な範囲で具体的な検討内容を記載する。